



# イギリス文化研究——19世紀の文学と絵画を中心に して——

人間文化学部 国際文化学科

教授 天野 みゆき (あまの みゆき)

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1816号室  
Tel 082-251-5178 (代表)  
Fax 082-251-9405 (代表)

専門分野： 19世紀イギリス文学、文化

キーワード： 英文学、文化、小説、詩、絵画、言語、フェミニズム、ジェンダー、階級

## ●研究内容

イギリス文化について次のような観点から研究しています。

- 1) 19世紀イギリスを代表する作家の一人であるジョージ・エリオットと他の作家たちの作品との関連性、小説と絵画の関係性などに焦点をあてながら、19世紀イギリスの小説、詩、絵画の特徴や歴史的意義を明らかにする。
- 2) 異なるジャンル間、階級間の相互作用を探りながら、19世紀イギリス文化の形成と変容を明らかにする。

上記1)についてのこれまでの成果は、拙著『ジョージ・エリオットと言語・イメージ・対話』（南雲堂、2004年）にまとめました。

「ジョージ」はペンネームで、エリオットは実は女性作家です。女性作家が男性名をペンネームとしたこと自体が、圧倒的に男性優位であった19世紀イギリスの社会状況を物語ります。エリオットは、イングランド中部の地方に生まれましたが、やがてロンドンでその類稀なる知性を発揮し、文学、絵画、科学、哲学について領域横断的に研究を続けながら、精力的に小説や詩を書きました。

拙著では、エリオットが特定の絵画への言及や絵画的な描写によって「絵画的イメージ」を巧みに作り出している点に注目し、それらのイ

メージが持つ様々な意味を考察しています。さらに、その背後に存在するエリオットの言語観や世界観、彼女が言語に託した希望、他の思想家や作家たち（ブロンテ姉妹やディケンズなど）への反応として創造した対話的作品世界の広がり进行を明らかにしています。特に、20世紀に人文、社会科学の分野に多大な影響を及ぼした「言語が意識を構成する」という思想にエリオットがすでに到達していたこと、また、文化の個別性と普遍性を認識し、他者との共存の重要性を世界規模で考えていたことなど、彼女の先進性には驚くべきものがあります。

## ●期待される成果と応用

- 1) 19世紀イギリス文化の豊かさと活力、矛盾などを明らかにすることができます。
- 2) 異なるジャンル間、階級間の相互作用を通して19世紀イギリス文化の形成と変容を探ることは、従来は看過されてきたマイナーな小説にも光をあて、ジャンルごとに別個に行われる傾向にある文学研究の可能性を広げる学際的な研究になると思います。
- 3) 研究成果を授業に還元することにより、小説や絵画の意味を読み解くおもしろさを味わうとともに、100年以上も前の作品がいかに現代的意義をもっているかを実感する場を提供したいと考えています。学生の皆さんが自ら問題を発見して、それを解明していく契機になることを願っています。

## ●想定される連携先

- 1) 地域住民の方々とその団体
- 2) 中学校、高等学校



# A Study of the British Culture through the Nineteen-Century Literature and Paintings

Faculty of Human Culture and Science  
Department of Intercultural Studies  
Professor Miyuki Amano, Ph.D.

Prefectural University of Hiroshima Office 1816  
Tel 082-251-5178 Fax 082-251-9405

Research Fields : Nineteenth-century British literature and culture

Keywords : British literature, culture, novel, poetry, language, feminism, gender, class

## ● Research Topics

I am making a study of the British culture from the following perspectives:

- 1) The characteristics and the historical significance of novels, poetry, and paintings in the nineteenth-century Britain, especially focusing on the examination of the intertextuality of the works of George Eliot and other writers, and the relation between novels and paintings.
- 2) The formation and change of the nineteenth-century British culture through the interaction between different genres and classes.

A part of the result of my study concerning the topic 1) was published as *George Eliot and Language, Imagery and Dialogism* (Tokyo: Nan'un-Do, 2004).

This book pays attention to the 'pictorial imagery' which is created in Eliot's works by both the references to specific paintings and the minute pictorial descriptions, and analyzes its various meanings. It also clarifies Eliot's view on language and the world, her hope in

the development of language, and the wide range of her fictional world created through her dialogic relationship with other philosophers and writers such as Auguste Comte, the Brontës and Charles Dickens. It is especially worth noting that Eliot already reached the 'linguistic turn,' and that she took a global view of the coexistence of different ethnic groups, realizing the individuality and universality of cultures.

## ● Expected Results and Application

- 1) This study will clarify the dynamism, richness, and contradictions of the nineteenth-century British culture.
- 2) This study is an interdisciplinary one, which will develop the literary studies.

## ● Potential Partners

- 1) Citizens and their groups
- 2) Teachers and students of junior high schools and high school